霧島警察署に「ポリスマン野球部」発足！！

霧島警察署では、令和６年４月に野球部を発足させて以来、地元の草野球リーグに参戦する傍ら、地元中学生との触れ合い親善試合を行うなど、地域との交流はもとより、「親しみやすい警察」の広報に一役買っている。

チーム名は「パトレス」
メジャーリーグの「パドレス」と警察の「パトカー」をもじって名付けたもの

同部は、署長以下28人の署員で構成されており、中には県内の強豪高校野球部出身の者もいる。交代制勤務の署員も多く、練習・試合に全てのメンバーが揃うことは困難であるが、各部員は精力的に活動を重ねている。

若手部員からは、
「『警察官＝怖い。」というイメージを、野球を通じた触れ合いによって、親しみやすい、身近な存在に感じてほしい。」
「野球を一緒にすることで、少年たちが警察官に声が掛けやすくなったり、非行に走る少年が一人でも減ってくれたら。」
との声も聞かれるなど、野球というスポーツの向こう側に、「警察への理解と信頼の確保」という目的をしっかりと見据えている。
また、対戦した相手の中には
「近寄りがたいと感じていた警察官が、みんな気さくで明るい人たちだった。」
「働きながら、野球を続けられるのは『いいなあ。』と思った。」
と笑顔で語る子もいるなど、その活動効果は上々である。

署幹部の一人は、
「今後、この野球部が地域との架け橋となって、安全・安心のため、『住民とともに』に進んでいきたい。」
と話している。